

## 第1回 第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン検討委員会会議録(要旨)

日 時 平成 27 年 12 月 16 日(水) 午前 10 時～12 時

場 所 健康センター第1会議室

出席者 委員 16 名(中田委員長 村田副委員長 島澤委員 佐藤委員 福島委員  
齊藤(し)委員 菊地委員 矢澤委員 和田委員 林委員 広瀬委員  
西澤委員 中西委員 内野委員 小苺米委員 齊藤(隆)委員)  
その他8名(教育長 教育部長 教育部参事 生涯学習スポーツ課長 図書館長  
郷土博物館長 統括指導主事)

欠席者 1 名(土田委員)

### 会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付及びあいさつ
- 3 委員長、副委員長選出
- 4 検討委員会設置趣旨説明
  - (1) 委員紹介
  - (2) 検討委員会設置要綱について
  - (3) 検討委員会のスケジュールについて
  - (4) 第2次清瀬市教育総合計画マスタープランの計画体系について
- 5 現行マスタープランの概要説明
  - (1) 教育総務課
  - (2) 指導課
  - (3) 生涯学習スポーツ課
  - (4) 図書館
  - (5) 郷土博物館
- 6 今後のスケジュールについて
- 7 事務連絡

## 会議(要旨)

### 1 開会

教育部長より挨拶

### 2 委嘱状交付及びあいさつ

教育長より代表として市民公募の和田委員に委嘱状交付  
教育長より挨拶

### 3 委員長、副委員長選出

委員長 中田 正弘 氏  
副委員長 村田 政司 氏

### 4 検討委員会設置趣旨説明

#### (1) 委員紹介

各委員より自己紹介

#### (2) 検討委員会設置要綱について

教育総務課長より説明

(委員長)

今回のマスタープランは、平成18年に改定があった教育基本法を受けて、第二次計画の策定を行う。今回の策定にあたり、市は市、教育は教育ではなく、市の全体構想も視野に入れながら、どのように形にしていくかが大きな課題となる。

#### (3) 検討委員会のスケジュールについて

#### (4) 第2次清瀬市教育総合計画マスタープランの計画体系について

教育総務課長より説明

### 5 現行マスタープランの概要説明

教育委員会事務局各課・館長より説明の後、質疑・意見表明

#### (1) 教育総務課(教育総務課長)

1 地域と共に子どもを育む清瀬

(3) 広報メディアの拡大

(4) 児童生徒の安全確保

2 基本的な生活習慣を育む清瀬

(6) 学校給食設備・備品等の充実

3 美しい緑・自然と文化を誇る清瀬

(5) 学校緑化の推進

#### 4 学校が自信をもち信頼される清瀬

(17) 学校施設設備・環境の充実

(18) 学区域等の見直し

(委員)

8小が芝生化され、子供は楽しそうに通っている。芝生の手入れについても、手伝いたいと思う。

(委員)

校舎の年数が経っている。子どもたちが安全に過ごせる場を提供してほしい。

### (2) 指導課(教育部参事)

#### 1 地域と共に子どもを育む清瀬

(2) 学校サポート組織の充実

(4) 児童・生徒の安全の推進

#### 2 基本的な生活習慣を育む清瀬

(1) 子育てサポート

(3) 青少年の体験活動の推進

(4) 社会の基本的ルール形成

(5) 小・中学校における食育の推進

#### 3 美しい緑・自然と文化を誇る清瀬

(2) 郷土学習の推進(文化財・芸能)

#### 4 学校が自信をもち信頼される清瀬

##### 学力向上アクションプラン

(1) 清瀬教師塾(教員研修事業)

(2) 教育課題研究指定校

(3) 外国語(英語)教育の推進

(4) 読書活動の推進

(5) 体力向上の推進

(6) 命を大切にする心の教育の推進

(7) 特色ある学校づくりの推進

(8) キャリア教育の推進

(9) 小中連携校

(10) 保幼小連携

(11) 教育なんでもテレホン

(12) いじめ問題への対応

(13) 不登校対策(派遣相談員制度)

(14) 教育相談の充実

(15) 特別支援教育の推進

(委員)

説明の資料に数値目標があり具体性がある。このマスタープランは平成 23 年 2 月に発行されているので、平成 27 年度の数値は目標であって実績ではない。実績評価をしたうえで次のプランをたてるのが通常の教育委員会だと思う。平成 27 年度の実績評価はどうなっているのか。

(教育総務課長)

1 つめの実行計画の評価については、中間期の平成 25 年に事務局で見直しを行い、平成 27 年に目標値を修正している部分もある。どのような評価をしたかについては、毎年教育委員会の重点事業について、有識者の意見をもらい報告書を作成し、議会へ報告することが義務付けられている。それに伴い、マスタープラン自体は変更なくしても、重点事業については知見に基づいて点検評価を行いながら進めてきた。

新たなマスタープラン作成に向け、現行のマスタープラン検証作業は分科会で行っている。分科会の資料は出来ているので、次回の会議の議題としたい。

(教育部長)

毎年点検評価を行い、知見をもらって見直しを行っている。  
二つ目についても、資料はできているので次回お願いしたい。

(委員)

補習授業を新たに取り入れ、学校からどのような課題があるのか等お知らせがあるが、保護者側はよく理解できていない。どのような児童が対象なのかわからない。この制度は良いと思うが、学校側と保護者側とで、どの部分に、どの子供たちにスポットをあてていくかわかりやすいように調整できるとよいと思う。

(委員)

放課後補習が始まり、『良かった、嬉しい』と思ったが、0 点から 40 点くらいの子どもたちが対象だと学校から説明を受けた。補修が必要とされる子供たちはほとんど補修に参加していないのが現状。中間点の子供たちの行き場がなく、塾に通っている状態。どの部分の子供たちを手当てしてくれる施策なのかよくわからない。

補修を必要とする子供たちが手当てを受けると学力調査の結果ももっと上がると思う。教育がきちんとなされていないと生活が乱れ、生活が乱れると教育が乱れる。保護者の意識と計画を立てる側との思いがうまくマッチングすると本当にありがたい施策だと思う。ただ、現状でははがゆく思っている。

(委員長)

良い施策ができていても運用上まだ課題がある。この地域で、みんなの力で子供たちを育てると考えると、次のプランには子供たちの周りにいる保護者の方や学校、地域の方とどうやってコラボレーションしていくかが大切になっていく。

(委員)

小学校 1 年生の授業を充実させてもらえないか。いくら 3 年生や 4 年生、中学校も含めて補充しても、1 年生の時に追いつかないとその状態が続いてしまう傾向がある。極端な話、1 年生の教育は先生が 2 人くらいつく。そのくらいの重点をおいてやってほしい。

(委員長)

次回、そのあたりの話を掘り下げると良いと思う。

### (3) 生涯学習スポーツ課(生涯学習スポーツ課長)

1 地域と共に子どもを育む清瀬

(6) 青少年の健全育成

2 基本的な生活習慣を育む清瀬

(3) 青少年の体験活動の推進

5 生涯学び社会に貢献する清瀬

(1) 生涯学習情報の発信

(2) 清瀬市民アカデミー(シニア世代の貢献)

(3) 清瀬人材バンクの創設

(4) 生涯学習スポーツの推進

(委員)

文化協会でも高齢化が進んでいることが問題になっている。(催しの)計画を立ててもなかなか難しいところがある。余裕が無いと文化の方に携わるのは難しいと思う。余裕がだんだんと失われているのが問題になってきているのではと感じている。生涯学習スポーツ課の講習会等計画されたものに参加するが、ものすごくいいものがたくさんある。そのお知らせが、市報からではなくいつも活動センターからの配付物で手元にくるので、これがもっとスムーズに周知できると良いと思う。

(委員)

ジュニア育成、シニア育成ということで取り組んでいただいているが、特に高齢者の活動が非常に高い。清瀬市内においては高齢化が進んでいるが、その中でいかにジュニア育成を推進していくかということを進めている。残念なのは中間層の参加が少ないということ。多忙ではあると思うがそこをなんとか取り入れていきたい。個々のスポーツ人口は増えているけれど団体競技としてのスポーツ組織が少なくなっている。そこをどのように取り入れていくかを考えている。

(委員)

色々な事業があるが、初めて聞く事業が沢山ある。おそらく市民の中でも知らない方が多いのではないかな。広報が大切。ホームページの内容も見ているが、それ以外で知らせたり伝える、ということができていないのではないかな。事務が多すぎるのも良くないと思う。もっと絞りこむ方が具体的には良いのではないかな。一生懸命やっていると思うが、現状の結果で、削るところも作っていかないと業務が膨らんでいだけでわからなくなってしまう部分があるのではないかと危惧している。

(委員長)

社会教育は苦勞されていることと思う。次回以降また話ができると思う。

#### (4) 図書館(図書館長)

5 生涯学び社会に貢献する清瀬

(5)ブックスタート事業の推進

(6)学校支援の推進

(7)障害者サービスの推進

(委員)

図書館の職員の方に学校へきてもらい、子供たちと触れ合ってもらうのは大変ありがたい事業。団体貸し出しについても、一定期間学校に本をおいておけるというのも非常にありがたいと思っている。

(委員)

団体貸し出しについて、小学校の方ではよく利用しているが、中学生になるとそういった利用が難しくなってくる。図書館の方から巡回して、中学生向けの本の紹介等あればもっと本に親しみが持てるのではないか。

(委員長)

おそらく中学生くらいになると、発達段階的に本ではなくスマホ等別の方に興味がいつてしまうのだろう。

#### (5) 郷土博物館(郷土博物館長)

3 美しい緑・自然と文化を誇る清瀬

(1)郷土学習の推進(生活体験)

(2)郷土学習の推進(文化財・芸能)

(3)文化財保護等の推進

(4)市民文化の意識向上

(委員)

学芸員について、今後は学芸員としての能力だけではなく、コミュニケーションの能力や教育に関するとらえ方、生涯学習に関する能力が必要となる。博物館の問題としてではなくて、大事なプランとして位置づけをきちんとして、手配、予算、人間にひきよせられる、というようなことをしていかなければならない。

(副委員長)

5つの説明を受けたが、子どもたちは全部のところそれぞれ計画の部分で、関わっていただきながら成長していつていることを改めて思った。確かに成長段階によって関らない部分もあるが、様々なところでいろいろなことを経験しながら成長している子どもたちが今私たちの目の前にいる。生涯学習的に言うと、清瀬は住みよいまち。

(委員長)

次回以降のマスタープラン検討委員会にも各課の課長が出席してくれると良いのではないか？

(教育部長)

各課長も出席する。

## 6 今後のスケジュールについて(教育総務課長)

2回目は1月22日午後から行う。

現行マスタープランの見直し・全体の検討を進めていく。1月の会議で4月以降の話をしていく。

## 7 事務連絡(庶務係長)

次回から書類に印鑑が必要になるのでご持参いただきたい。

(委員)

分科会からの報告は説明をいただけるのか。

(委員長)

検討の評価をしなくてはいけない。

(委員)

書類を見てすぐは意見できないので、資料の事前送付を希望する。

(事務局)

分科会の資料も含め事前送付する。

(委員長)

これで第1回第二次清瀬市教育総合計画マスタープラン検討委員会を終わります。